

事務事業名		備品管理事務		目標設定日	平成28年3月1日
				部・局	
総合 計画 体系	基本政策	6	市民参加と協働のまちづくり	課・室	会計課
	政策	07	持続可能な財政運営の推進	係	会計係
	施策	01	計画的な財政運営	内線電話	351
予算 体系	会計	ゼロ予算事業		実施計画	
	款	—	予算措置なし	—	
	項	—	—	実施期間	
	目	—	—	合併前 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	備品を使用・管理している職員	物品の出納を行う。検査を行うことで物品と備品台帳を一致させ、備品管理の適正化・効率化を図る。	
現状・課題	物品の保管状況の検査を行ったが、物品の所在が不明なものが見受けられることから、物品と台帳を突合し、整備する必要がある。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	地方自治法	
事務事業概要	物品の出納及び保管状況の検査をする。		
平成28年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	物品照合検査事務		8か所
	新規登録備品		300件
	保管転換備品		40件
	廃棄備品		500件

事務 イン プツ コスト	項目		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	予算額	当初予算	円			
補正予算		円				—
合計		円		0	0	0
決算（見込）額 A			円			—
財源内訳 <small>H28は予算額</small>	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
	一般財源	円		0	0	0
職員数	正規職員	人		1.00	1.00	1.00
	嘱託職員	人				
	人件費 B	円		6,611,000	6,611,000	6,611,000
総事業費 A+B			円	6,611,000	6,611,000	6,611,000
市民1人当たりコスト			円	149	150	151

成果指標 アウトカム		平成26年度	平成27年度	平成28年度
物品照合検査事務(備品台帳の一致状況)	目標	100.0%	100.0%	100.0%
	成果	80.0%	85.0%	—
	目標			
	成果			—

成果指標と目標値の設定理由	物品の保管状況の検査の結果、この成果指標を増やすことが望まれているため。
---------------	--------------------------------------

平成28年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	上げる
	物品出納及び保管状況を確認し、備品台帳との突合を図る。						

